

胃癌は変わったか？ というテーマである。永年胃癌の診断学に携わった者からみると確かに変わってきたというのが実感である。胃癌の本来持っている生物学的特性が変わったと考えるより診断学が変わった結果であろう。

本号で共通して述べられていることは、未分化型の浸潤癌が増加し、早期癌の比率が50～60%に増加し、IIc型が多く、IIc+III型が減少している点である。座談会の主張は胃癌のルーチン検査が直視型内視鏡検査で行われるようになってきたこと、内視鏡による二次スクリーニングが普及したことが早期癌の比率を高めた要因となっているということである。内視鏡診断の立場から時代的変遷を論じた早川は最近10年間で早期癌が60%を占め、臨床的に診断された10mm以下の早期癌が著明に増加(21.4%)したと述べている。一方、集検発見胃癌の時代的変遷を論じた細川は早期癌の比率は72.5%に達し、そのうち10mm以下は18.1%と増加していると述べている。間接X線検査で、これだけの診断能を示され、スクリーニング検査では拾い上げが困難と言われている

るC領域、前壁、大彎の早期癌の間接X線像が呈示されている。驚くべき成績である。胃癌診断に情熱を持って集検を行えば、内視鏡によるスクリーニング検査と変わらない結果が得られることを示した成績である。

序説で高木は、細径直視鏡を万能内視鏡としてスクリーニングに用いているが欠点もあり、今後、胃診断学を更に発展させる任務を有する若年、中堅内視鏡医が胃内視鏡検査における側視鏡の意義を認識すべきであると述べている。C領域の早期癌は内視鏡所見に乏しいものが多く、この領域の直視鏡による観察は反転観察で遠景観察となり、見逃されることがある。早川のデータではC領域とCM領域を合わせると、進行癌は全進行癌の20%前後発見されている。中島はこの領域のstage II以上の進行癌は合併切除が必要であり、C領域癌の早期診断の必要性を述べている。

胃癌の診断学は完成しておらず、今後若い人達の努力によって検査理論、診断理論、病理診断が変化し、胃癌の生物学的特性が解明されていくものとする。

# 胃と腸

2月号(第28巻・第2号) 予告

発売予定 2月5日  
定 価 1,957円(税込)

## 主題／内視鏡的食道粘膜切除術

|       |                                          |         |
|-------|------------------------------------------|---------|
| 序 説   | 食道粘膜切除術の意義……………千葉大・2外                    | 神 津 照 雄 |
| 主 題   | 食道癌に対する粘膜切除術の適応—その病理学的基盤……都立駒込病院・病理      | 岩崎 善毅・他 |
|       | 食道癌の外科治療成績からみた粘膜切除術の評価……………東女医大・消センター    | 井手 博子・他 |
|       | 早期食道癌に対する内視鏡的粘膜切除の実際                     |         |
|       | a) 2チャンネル法……………都立駒込病院・内                  | 門馬久美子・他 |
|       | b) EEMR-tube 法……………東海大・外                 | 幕内 博康・他 |
|       | c) EMRT と EMRC……………東医歯大・1外               | 井上 晴洋・他 |
| 今月の症例 | 噴門部IIc型早期胃癌の1例……………九大・2内                 | 富永 雅也・他 |
|       | 炎症所見(UI-IIs)を伴った虫垂粘液囊胞腺腫の1例……………札幌厚生病院・消 | 今村 哲理・他 |

## 胃 と 腸 (第28巻 第1号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1993年1月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,957円(本体1,900円)(配送料81円)

年ぎめ予約購読料26,240円(本体25,476円)

(増刊号4,120円を含む13冊)(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎(03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎(03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1993, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複製・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複製される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3269-5784)の許諾を得てください。

(担当) 渡邊・窪田・江口・長谷川